

草原守る活動拠点施設 工事始まる

エコツーリズムセンター（仮称） 来年 3 月完成予定



完成予想図

●施設概要

（規模） 建築面積：729・48平方メートル
延床面積：648・07平方メートル
（構造） 木造一部鉄骨造平屋建て

●施設機能

- ・エコツーリズムセンターと阿蘇草原学習センターの総合受付窓口
- ・草原・観光に関する情報発信
- ・エコツアーやガイドの仲介
- ・草原関係団体の入居

草原活動拠点施設「エコツーリズムセンター（仮称）」の建設工事が始まり8月12日、関係者約50人が参加し、小里にある建設地で地鎮祭が行われ、工事期間中の安全が祈願されました。

同施設は、敷地内に環境省が整備する「阿蘇草原学習センター（仮称）」横に建設されるもので、来年3月の完成、4月からの運用

開始を目指します。運用に当たっては両施設が連携し、草原の保全や学習、利活用など草原に関するさまざまな活動を行っていく予定です。



地鎮祭の様子

地元の素材生かした「然」ドリンク販売

「然」ブランド 初めて商品化



1本・150円（税込）

阿蘇温泉観光旅館協同組合は8月1日、市の地域観光振興ブランド「然」の一環として2つの「然ドリンク」を開発し、販売を開始しました。



ドリンクの開発に携わった内牧温泉女将の会「ゆうすげ会」の皆さん。開発には半年以上を費やしたとのこと。
阿蘇温泉観光旅館協同組合

☎ 32-1960



商品は、阿蘇産さちのかを使用した「然ウォーター苺」と蒸製玉緑茶を使用した「然煎茶」の2品。それぞれ「然」認定者が手掛ける素材を使用し、昨年10月から開発を進め、然ブランドとして初めての商品化となりました。

販売は道の駅「あそ」道の駅波野「神楽苑」のほか、同組合加盟店、然認定者各店などで販売しています。

恒例の夏祭り、多くの人出で賑う

なみの高原納涼まつり・大阿蘇火の山まつり

WebTV アソ
動画

1



なみの

3

4

2



なみの



火の山



火の山

- ①波野子ども神楽クラブが伝統芸能を披露。
- ②阿蘇市出身の演歌歌手山内二郎さんの歌声が会場に響いた。
- ③⑥ 32基の子ども樽みこしが露店街をパレード。可愛いハッピー姿の子どもたちに沿道から拍手が送られた。
- ④内牧温泉街繁栄会のイベント。ショータレント阿蘇狩男さんのシヨウは来場者の笑いを誘った。
- ⑤フィナーレの総踊りには地区や企業など38団体1,341人が参加。祭りを締めくくった。



火の山



火の山

5

6

昨年に引き続き行われた火の山まつり開会式でのバルーンリリース。
色とりどりの風船が空を舞った。



美しい黒川をこれからもずっと 狩尾地区の住民が鯉を放流



釣り愛好家グループの皆さん

狩尾地区の釣り愛好家グループ（草尾惟直会長、13人）は7月26日、黒川に数千匹の鯉の稚魚を放流しました。
一昨年の豪雨災害で、河川氾濫により家屋や農作物に大きな被害をもたらした黒川の悪いイメージを払拭し、生活に欠かせない黒川の環境美化を図ろうと企画。参加したメンバーは一斉に放流し、鯉の成長を願いました。草尾会長は「川で遊ぶ子どもも少なくなつたが、美しい黒川を次世代に引き継いでいきたい」と話していました。

退職交通指導員に 感謝状を贈呈

阿蘇市交通指導員を退職された方に対する感謝状贈呈式が7月7日、市役所で行われ、ことし3月末に退職された山口定俊さん（東仲町）、井勝喜さん（笹倉）に感謝状が贈呈されました。

山口さんは、平成15年に就任以来約11年間、井さんは、平成20年に就任以来6年間にわたって街頭指導やイベントなどでの交通指導を務められ、交通事故防止に大きく貢献されました。

交通指導員は、毎月の街頭指導をはじめ、交通安全運動期間中の活動やイベントなどの交通指導にご尽力いただいています。



夏場の水難事故に備えて 水難救助基礎訓練



ボート上で捜索訓練に臨む
消防署員

阿蘇広域行政事務組合消防本部は7月25日、小嵐山前の黒川で特別機動救助隊による水難救助基礎訓練を行いました。
水難事故が多い夏季を中心に定期的に行っているもので、この日は10人が空気ボンベを装着し水中での捜索や、ボート上からの捜索訓練に臨み、水難事故などに備えました。
近年、ラフティングなど急流でのレジャーが流行しており、水難事故も多いことから消防署では急流救助訓練も計画しているとのこと、消防本部の中村定和消防士長は「あらゆる局面で対応できるようスキルアップしていきたい」と話していました。

馴染みの音楽で復興支援 復興支援2014 歌暦みコンサート

復興支援2014
歌暦みコンサートが
7月21日、市内ホ
テルで行われ、約
500人が来場し賑
わいました。「あそ
BOYカラオケ会」
(井野千恵子代表)
が実施したもので昨
年に続き2回目。



出身の歌手「川島ま
ゆみ」さん、『阿蘇
ものがたり』、『大阿
蘇音頭』を作詞作曲
した「ハル」さんの
コンサートがあり、
馴染みの曲の生演奏
に観客は酔いしれま
した。

ファイナーレは全員
で大阿蘇音頭を踊
り、阿蘇市に元気を
贈りました。なお、
売上金の一部は復興
支援金として阿蘇市
へ寄付いただきました。



教職員の指導力向上目指して 阿蘇市教育研究会全体研修会

市内教職員の指導力向上を図る
うと7月30日、阿蘇市教育研究会
全体研修会が阿蘇青少年交流の家
で行われ、市内小・中学校教職員
や高校教職員、幼稚園・保育園長
など約250人が参加しました。

研修会では、ユネスコ大使や文
化庁長官などを歴任した近藤誠一
氏が「これからの日本、子どもた
ちに何を教えるか?」と題し講演。
また、波野小学校の中村泉教諭が

国内留学での特別支援教育の実践
発表を行いました。

同研究会で
は、全体研修
のほか、授業
の実践研究な
どを行い、指
導力の向上を
図っています。



九州各県の ボーイスカウトが集結 第9回九州・沖縄野営大会



野営大会開会式の様子

九州各県からのボーイスカ
ウトが集う第9回九州・沖縄
野営大会が8月6日から8日
にかけて阿蘇いこいの村で行
われました。

「大自然と友情に感謝」を
テーマに、野営を通じて大自
然の中で創意工夫を凝らしス
カウト同士の友情を深めて
もらおうと、各県から総勢
1100人が参加し、野外で
さまざまな活動に取り組みま
した。

※阿蘇地域では、昨年12月に
「日本ボーイスカウト阿蘇
第6団」として発団し、現
在8人のボーイスカウトが
活動しています。興味のある
方は佐久間研治団委員
長(☎090・1361・
9846)までお問い合わせ
ください。